

No.	024	—	2005	事務事業名	登下校通知システム事業	細事務事業名		公的関与	1				
PLAN	課名	学校教育課	係名	学事係	電話番号	089-964-4420	メールアドレス	gakkokyoiku@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	一部委託	実施計画	非該当	事業期間	年度 ~ 年度 期間設定なし				
	総合計画	政策目標	第3章 心豊かに学びあう文化創造のまち		政策項目	2 学校教育の充実		主要施策	(1) 学校施設・設備の整備				
	事業の対象	市内小学校のシステム利用を希望する児童・保護者				根拠法令							
	事業の目的	最終的					今年度						
	活動内容	①	ICカードとインターネットメールを用いて、児童の登下校時刻を保護者の登録されたEメールアドレスへ送信します。				④						
		②					⑤						
		③											
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由			単位	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	最終目標		
				業務の性質上、指標設定になじまみません。			目標						
					実績								
					目標								
					実績								
					目標								
DO	予算費目	会計	一般会計			費目名	教育費						
	直接事業費		平成 26 年度決算	平成 27 年度決算	平成 28 年度予算	備考							
		国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	平成28年度は読み取り機取替費2,225千円とICカード108千円により、事業費が増加しています。							
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円								
		一般財源	104 千円	104 千円	2,437 千円								
	計(A)	104 千円	104 千円	2,437 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.100 人	601 千円	0.100 人	602 千円	0.100 人	596 千円					
		臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円					
	全体事業費(A+B)		705 千円	706 千円	3,033 千円								
一次評価者	学事係	総合評価点	A	必要性	3	有効性	4	達成度	3	効率性	3	今後の方向性	現状維持
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	児童の登下校における安全安心のため、また、保護者における危機意識の啓発のため必要性は高い事業です。												
有効性	利用している保護者において、児童の登下校における危機意識を啓発することにおいて有効です。												
達成度	需要に対して情報提供することができています。												
効率性	加入促進が図れるよう検討します。												
当面の課題	登下校通知システム利用者の加入促進が必要です。												
改訂計画	システム加入促進が図れるよう検討します。												
二次評価者	学校教育課長	総合評価点	A	必要性	3	有効性	4	達成度	3	効率性	3	今後の方向性	現状維持
二次評価での指摘事項	児童の安全確保のために有効な事業ですので、周知及び加入促進に努めてください。												

No.	024	—	2069	事務事業名	児童用机椅子整備事業	細事務事業名	児童用机椅子整備事業	公的関与	6				
PLAN	課名	学校教育課	係名	学事係	電話番号	089-964-4420	メールアドレス	gakkokyoiku@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	施設の維持管理		事業運営方法	一部委託	実施計画	該当	事業期間	27年度～29年度				
	総合計画	政策目標	第3章 心豊かに学びあう文化創造のまち		政策項目	2 学校教育の充実		主要施策	(1) 学校施設・設備の整備				
	事業の対象	小・中学校児童、生徒				根拠法令	なし						
	事業の目的	最終的	市内小・中学校全校に新JIS規格対応の机椅子を設置します。			今年度	北吉井、南吉井、川上小学校の4～6年生の机椅子の整備を実施します。						
	活動内容	①	新JIS規格対応机椅子の整備			④							
		②				⑤							
		③											
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	最終目標			
		新JIS規格机椅子整備率		机椅子導入数／全児童・生徒数		%	目標	37	67	100			
					実績	37							
					目標								
					実績								
					目標								
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	教育			費				
	直接事業費		平成 26 年度決算	平成 27 年度決算	平成 28 年度予算	備考							
		国・県支出金	0千円	0千円	0千円								
		地方債	0千円	0千円	0千円								
		その他特定財源	0千円	0千円	0千円								
		一般財源	0千円	19,553千円	16,127千円								
	計(A)	0千円	19,553千円	16,127千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.000人	0千円	0.220人	1,325千円	0.170人	1,014千円					
		臨時職員工数・経費	0.000人	0千円	0.000人	0千円	0.004人	8千円					
	全体事業費(A+B)		0千円	20,878千円	17,149千円								
一次評価者	学事係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	現状維持
項目	評価項目の説明（一次評価者のコメント）												
必要性	新JIS規格への改正は、平成11年に施行されており、教材等のA版化、子どもの体位の変化等に対応した机椅子の整備は必要です。												
有効性	近隣市町では、すでに整備済みであり、教育環境の均衡を保つため適切な事業であると考えます。												
達成度	市内小学校の机椅子に関しては、平成27～28年度の2か年で全て入替えるため、十分に目標を達成しています。												
効率性	新JIS規格の机椅子の整備にあたり、環境にやさしく耐久性に優れた製品を検討することにより、修繕費等のコスト削減が期待できます。												
当面の課題	平成29年度に市内中学校2校の机椅子入替を実施することにより、市内小中学校全ての机椅子が新JIS規格の机椅子になります。												
改訂計画	市内小中学校全ての机椅子が新JIS規格の机椅子となるように計画的な入替を実施します。												
二次評価者	学校教育課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	現状維持
二次評価での指摘事項	順調に事業が進んでいます。 平成29年度実施予定の中学校分についても適正かつ確実に実施してください。												